

審議会答申に対する教育委員会の考え

答 申	教育委員会の考え
1 3校統合であることを鑑み、各校の学びを継承・発展させた学校づくりを進めるとともに、東西校舎での統合校開校時及び新校舎完成時による環境の変化に対して、子どもたちが新しい学校生活に順応していけるよう、開校に向けた取り組みを着実にを行うこと。	統合決定後、3校のこれまでの教育方針を踏まえながら、本市が目指す学びの考え方を示した「ナゴヤ学びのコンパス」に基づく新たな教育方針の策定を進めます。 また、子どもたちが新しい学校生活に円滑に順応できるように、学校と協議しながら、児童の事前交流を実施するとともに、新しい学校づくりのための準備を着実に進めていきます。
2 保護者や地域の声を聴きながら、関係行政機関と連携し、熱中症対策を含む通学の安全対策に取り組むこと。	統合に向けた懇談会(学校、PTA、地域住民で組織)において、通学路や交通安全、防犯、熱中症対策等について検討し、警察や土木事務所等の関係行政機関と協議しながら対策を進めます。
3 統合校の施設整備にあたっては、「子ども中心の学び」を実現できる学習環境の整備を進めるとともに、地域の特性を踏まえ、防災上の観点を配慮すること。 また、跡地活用について、統合後の保護者や地域のつながりの確保に配慮しながら、関係部局と連携し、活用方法を検討すること。	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、学校施設全体を学びの場として活用することを念頭とした整備内容を検討するとともに、地域の防災拠点としての機能確保について検討していきます。 統合後の跡地活用について、防災機能やコミュニティ機能など、地域に必要な機能に配慮しながら、活用方法を検討します。

審議会答申の補足事項

保護者や地域の中には不安の声や統合を望まない声もあるため、今後この統合を進めるにあたっては、教育委員会として丁寧な説明と対応を行ってください。

<参考>

審議会答申に対する対応案

答 申	対応案(過去の統合校の事例)
新しい学校生活への順応	統合前の事前交流活動として、遠足や野外教育を各校合同で実施
	スクールカウンセラーの相談体制強化
	通学支援員(通学距離が長くなる分団と一緒に通学する職員)の雇用
安全対策	歩行者先行信号や横断歩道の新設
	避暑やすみスポット(熱中症予防のために、一時的に休憩できる場所)の設置推進
	こども110番の家の設置推進
学習環境の整備	多目的スペースの整備や、可動式ロッカーの設置による柔軟な学習空間の実現
跡地活用	学校ではなくなった後も指定避難所としての機能を保持

